

飯塚急患センターでマイナンバーカードを健康保険証として利用できるようになりました

飯塚急患センターでは、マイナンバーカードを健康保険証として読み取る「オンライン資格確認システム」の運用を開始しています。

患者さまが同意すれば、過去の特定健診の結果や薬剤情報を閲覧することが可能になり、診療に活用することができます。



ご注意ください

公費負担受給者証・医療証(※)については、マイナンバーカードでは確認できませんので、必ず原本をお持ちください。

(※) 公費負担受給者証・医療証とは、

- ・子ども医療費受給者証
 - ・ひとり親家族等医療費受給者証
 - ・心身障がい者医療費受給者証
- などを指します。

マイナンバーカードの保険証利用
お申し込みはこちらでできます



(マイナポータルサイトにつながります)



発熱で受診される方は事前にお電話をお願いします。発熱での受診の場合、受付場所が異なるため、マイナンバーカードでの受付ができません。お手数ですが、従来の健康保険証の持参をお願いします。

●お問合せ 健幸保健課 (☎内線 2163)、飯塚急患センター (☎0948-24-3399)

医療 あれこれ

テーマ:3Dマンモグラフィ(トモシンセシス)を知っていますか



飯塚市立病院
放射線室

診療放射線技師

こみなみ あきこ
小南 亜紀子

日本人女性の乳がん罹患数は女性のがんの中で最も多く、2021年当時の乳がん罹患予測では年間94,400人で、女性がん罹患者の9人に1人が乳がんになる時代と言われています。そして乳がん罹患率は30代後半から急増し、30～64歳の世代では乳がんは女性のがんによる死亡数で1位となっています。しかし乳がんは早期に発見すれば治るがん(10年相対生存率98.0%)であるため、自己触診や乳がん検診を受けることがとても大切となります。

乳がん検診で施行されるマンモグラフィでは、乳房全体をプラスチック製の板で挟み薄く伸ばして撮影し、腫瘍・石灰化・局所的非対称性陰影などの所見を発見することで乳がんの早期発見が可能となります。しかし乳房は厚みがある立体ですので、1枚の画像では乳腺と重なり所見が見えにくかったりした場合、がんを診断できるまでに月日を要してしまうケースもあります。そこで今回は従来のマンモグラフィに比べ、より多くの乳がんを発見できると言われている3Dマンモグラフィについてご紹介いたします。

3Dマンモグラフィは、トモシンセシス(Tomosynthesis)とも呼ばれます。トモシンセシスはTomography(断層

とSynthesis(合成)の2つの意味から作られた造語で、マンモグラフィ検査における新しいX線撮影技術です。1度の撮影で多くの断面画像を得ることが可能で、これまでのマンモグラフィでは乳腺と重なり診断しにくかった乳がんも検出できる精度の高い検査となっています。撮影時間は装置メーカーによって異なりますが、当院の装置では3.7秒で撮影しています。3Dマンモグラフィを撮影することで従来のマンモグラフィに比べて浸潤癌の検出率が平均41%増加し、偽陽性(異常がないのにあるようにみえること)による要精検率が最大40%減少したことが臨床研究でも報告されています。

当院ではマンモグラフィ装置の更新に伴い、3Dマンモグラフィを2022年7月より導入し、症状があり乳腺外来を受診された方は従来のマンモグラフィに加え3Dマンモグラフィでの検査も同時におこなわれています。検診を受診される方でもオプションでの3Dマンモグラフィ検査も可能ですので気になる方は当院までお尋ねください。

乳がんは働きざかり・子育て世代の比較的若い世代でも罹るがんです。仕事や子育てで忙しい時期でも、乳がんの知識を深め定期的な受診をお勧めします。